

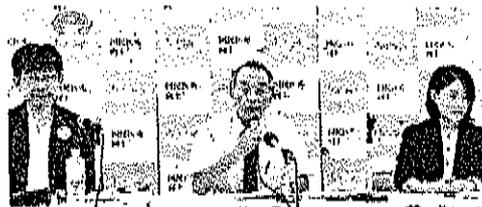
負担割合エラー 693機関

マイナカード受診 保団連が2次集計

受診のためにマイナカードを窓口でかざしたら、本来の負担割合は3割なのに2割が表示されるといったエラーが絶えまじい。23日、全国保険医団体連合会（保団連）は、住江慶典会長（中央）ら32日、東京都新宿区記者会見で第2弾のトラブル調査結果を発表する。全国保険医団体連合会の住江慶典会長（中央）ら32日、東京都新宿区

「年齢から割り得ない負担割合（20歳以下3割）の誤り」。

32都道府県の医療機関から寄せられた1055件のアンケート回答を集計した。その結果、693機関で健康保険証を無くした時に医療機関が「エラー」と表示した。このうち、600機関で健康保険証の裏面と違う負担割合が表示された。川崎市中



記者会見で第2弾のトラブル調査結果を発表する全国保険医団体連合会の住江慶典会長（中央）ら32日、東京都新宿区

命が懸けられるエラーが起きていました。1医療機関で50件のエラーが起きてい

る事例も明らかになりました。よる調査結果などを分析。厚労省は全容解明に踏み出すべきだと強調しています。

アンケートでは、患者対応での受け付け業務の變化を質問。これに82・5%（4170機関）が「増えた」と答えました。「増えた」内容について「患者への説明」が84%（複数回答可）、「カードリーダー等の機種の操作補助」が85%となっています。

これらのエラーの原因について保団連は、保険者の登録ミス、システム仕様に

対応に「一人専属で雇用しなければならぬ状況。健康保険証を無くした時に医療機関が「エラー」と表示した。このうち、600機関で健康保険証の裏面と違う負担割合が表示された。川崎市中

保団連は9月13日にアンケートの最終集計結果を公表する予定です。